



## 2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月14日  
東

上場会社名 リックソフト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4429 URL https://www.ricksoft.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大貫 浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 俊彦 (TEL) 03-6262-3948  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年2月期第3四半期の連結業績(2019年3月1日~2019年11月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	2,376	34.8	352	44.0	347	30.5	211	18.9
2019年2月期第3四半期	1,763	—	244	—	266	—	177	—

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 211百万円(18.0%) 2019年2月期第3四半期 178百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	50.36	46.38
2019年2月期第3四半期	44.71	—

- (注) 1. 当社は、2018年11月1日付で普通株式1株につき100株、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。  
 2. 2019年2月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったことから、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	1,886	1,341	71.1
2019年2月期	1,483	989	66.7

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 1,341百万円 2019年2月期 989百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年2月期	—	0.00	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	20.9	406	9.4	408	5.8	283	11.0	67.59

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年2月期3Q	4,204,600株	2019年2月期	4,127,800株
② 期末自己株式数	2020年2月期3Q	48株	2019年2月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年2月期3Q	4,196,881株	2019年2月期3Q	3,974,000株

(注) 当社は、2018年11月1日付で普通株式1株につき100株、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数 (普通株式) を算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についてもその確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や高い水準にある企業収益などを背景に、個人消費は緩やかな回復が続いております。一方、海外では米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題等の世界経済に及ぼす影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報通信サービスでは、企業競争力強化や人手不足、働き方改革への対応などを背景に、生産性向上や業務効率化を目的としたIT投資は堅調に推移しました。

このような環境の中で、当社グループは『「価値ある道具（ツール）」を世界中の多くの人が使えようにする』という企業使命のもと、かねてより開発に取り組んできたプロジェクト管理アプリ『WBS Gantt-Chart for Jira Cloud』のベータ版を2019年7月にリリースし、ベータ版ではあるものの、11月末時点でダウンロード数が1,600を超えました。その後、ベータ版を使用したユーザーからのフィードバックや機能改善を行い、12月4日に正式版をリリースすることができました。今後もさらなる改良を続けることで、『WBS Gantt-Chart for Jira Cloud』の販路拡大に繋げていきます。

また、グローバルで急速に高まっているクラウド需要に応え、「メイドインジャパンのツール」を世界中のお客様に提供できるよう研究・開発に取り組んでまいります。

当第3四半期連結累計期間におきましても、引き続き、Atlassian社の製品及び新規取扱製品の販売を中心に、コンサルティング、基盤構築・運用、クラウドサービスの提供、並びに新規顧客の獲得によるビジネスの拡大を図り、企業価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高2,376,728千円（前年同期比34.8%増）、営業利益352,282千円（前年同期比44.0%増）、経常利益347,226千円（前年同期比30.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益211,335千円（前年同期比18.9%増）となりました。

なお、当社グループは「ツールソリューション事業」の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載をしておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ403,174千円増加し、1,886,451千円（前連結会計年度比27.2%増）となりました。主な要因は、第三者割当増資による新株式の発行等により現金及び預金が332,223千円増加したことによります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ51,196千円増加し、545,009千円（前連結会計年度比10.4%増）となりました。主な要因は、買掛金が38,052千円、資産除去債務が31,062千円、前受金が27,540千円、賞与引当金が22,695千円増加した一方で、未払法人税等が51,041千円減少したことによります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ351,978千円増加し、1,341,442千円（前連結会計年度比35.6%増）となりました。主な要因は、第三者割当増資による新株式の発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ70,656千円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が211,335千円増加したことによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の業績につきましては、2019年4月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,037,007	1,369,230
売掛金	292,381	291,497
電子記録債権	3,400	1,775
仕掛品	26,122	30,913
その他	14,117	23,467
流動資産合計	1,373,029	1,716,884
固定資産		
有形固定資産	37,655	73,984
無形固定資産	9,855	6,742
投資その他の資産	62,735	88,839
固定資産合計	110,247	169,566
資産合計	1,483,276	1,886,451

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	135,138	173,191
未払法人税等	123,419	72,378
前受金	108,950	136,491
賞与引当金	21,500	44,195
その他	90,148	73,034
流動負債合計	479,157	499,290
固定負債		
資産除去債務	14,656	45,719
固定負債合計	14,656	45,719
負債合計	493,813	545,009
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	236,546	307,202
資本剰余金	271,546	342,202
利益剰余金	481,564	692,900
自己株式	—	△335
株主資本合計	989,656	1,341,968
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△230	△563
その他の包括利益累計額合計	△230	△563
新株予約権	38	37
純資産合計	989,463	1,341,442
負債純資産合計	1,483,276	1,886,451

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
売上高	1,763,801	2,376,728
売上原価	1,053,788	1,456,169
売上総利益	710,012	920,558
販売費及び一般管理費	465,299	568,276
営業利益	244,713	352,282
営業外収益		
受取利息	56	52
為替差益	16,231	—
販売奨励金	4,354	1,109
受取返還金	—	1,179
その他	873	642
営業外収益合計	21,516	2,983
営業外費用		
支払利息	121	—
株式交付費	—	1,514
株式公開費用	—	113
為替差損	—	6,412
営業外費用合計	121	8,040
経常利益	266,108	347,226
税金等調整前四半期純利益	266,108	347,226
法人税、住民税及び事業税	97,779	132,365
法人税等調整額	△9,346	3,525
法人税等合計	88,433	135,890
四半期純利益	177,674	211,335
親会社株主に帰属する四半期純利益	177,674	211,335

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	177,674	211,335
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,145	△333
その他の包括利益合計	1,145	△333
四半期包括利益	178,820	211,002
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178,820	211,002

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年3月27日を払込期日とする有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式発行38,400株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ70,656千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が307,202千円、資本剰余金が342,202千円となっております。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

当第3四半期連結会計期間において、当社の不動産賃貸契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、新規の不動産賃貸借契約時に入手した原状回復費用の新たな情報に基づき、原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。見積りの変更による増加額16,092千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、当該見積りの変更による、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。